



病院長 村上 伸也

明けましておめでとうございます。

大阪大学歯学部附属病院が中之島からこの吹田の地に移転し、今年で35年になります。移転当時は、大阪大学本部、薬学部、そして遠くに工学部の建物が見えるのみで、本院は広々とした空地に囲まれておりました。その後、大阪大学の活動の勢いを如実に示すように、さまざまな建物が建築され、大阪大学の敷地はすっかり手狭になってしまいました。教職員に加え、歯学部附属病院には現在1日平均900名以上の患者様が来院されますので、その方々への駐車場の整備は本院にとって喫緊の課題の一つです。そこで、前回のこの欄でもご紹介しました通り、昨年末より本院玄関前に立体駐車場の建設を開始いたしました。完成すると3フロアーを擁する立体駐車場となり、約300台分の駐車スペースを提供することができます。景観にも出来るだけ配慮した建物となる予定です。完成は、本年4月末を予定いたしております。工事期間中、来院される方々には色々とお不便をおかけいたしておりますが、何卒ご理解を賜りますよう、お願いを申し上げます。また、通常は患者様の目に触れることのない部屋ではありますが、院内の歯科技工室の全面改修を昨年末に終え、新年からは、将来の歯科技工の進化も見据えて整備したこの技工室で、皆様の金冠や入れ歯等を作製させていただいております。これからも、患者様に気持ちよく来院していただき、安心して安全な歯科医療を受けていただけるよう、さまざまな整備を進めてまいります。

今年も、歯科における「最後の砦」病院としての機能をしっかり果たしていけるよう、教職員一丸となって、努力してまいります。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

内面

● 特集1.

「年末ふれ愛コンサート」開催報告

● 特集2.

「第15回市民フォーラム」開催しました!

● 特集3.

□唇裂・□蓋裂・□腔顔面成育治療センターのご紹介

お口の相談コーナー

お口のマメ知識

裏面

● 2017年10~12月の統計情報

● 病院概要



看護部長 池 美保

大阪大学歯学部附属病院弓倉ホールで12月22日に「年末ふれあいコンサート」が開催されました。このコンサートも今年で18回目を数え、待ちわびた入院患者さんや家族の方、外来患者さん、病院関係者で溢れんばかりに会場を埋めつくしました。



サンタとトナカイに扮した司会者のほのぼのとした挨拶でコンサートが開幕し、踊りたくなるようなJ-POPの歌唱ではじまり、パフォーマンスいっぱいの聖歌や若手医師の初々しい合唱、子供たちだけでなく、大人も十分楽しんだスライド絵本の朗読会、大阪大学の学生によるアカペラのクリスマスソ



ングに皆が酔いしれました。また、大阪大学とフレンドシップ協定を取り交わしているサッカークラブのガンバ大阪のグッズ提供による抽選会も開催し、最後に参加者全員で「見上げてごらん夜の星を」を斉唱。出演者と会場が一体となりました。

患者さんからは「いろいろあって楽しかった」「先生方が、一生懸命されている姿にうるうるときた」「幸せな温かい気持ちになれた」「入院中の疲れが吹き飛びまた頑張ろうと思った」との声をきくことが出来ました。このコンサートが、患者さんの心を癒し、闘病への励みになり、職員とのふれあいの場となっていると願ってやみません。



参加者全員で「見上げてごらん夜の星を」

平成29年12月2日(土)に千里ライフサイエンスセンター5階のサイエンスホール(千里中央)において「第15回市民フォーラム」を開催しました。本フォーラムは、最新の歯科治療および歯科医学について、広く市民へ情報を発信し、市民の健康増進と歯学知識の向上を図ることを目的に毎年開催し



開会の挨拶 天野 敦雄 研究科長

ています。今回は「治せなかった病気が治る、最新歯科治療」をテーマに開催しました。

当日は、会場がほぼ満席となる約200名の方に参加していただきました。天野敦雄研究科長の挨拶の後、今回のテーマに基づいて歯学研究科の教員ら5名

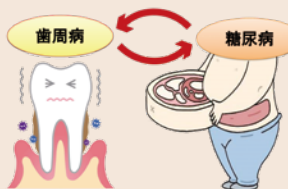
お口の相談
コーナー



「私、糖尿病なんです、糖尿病のひとつは歯周病になりやすいと聞きましたが、本当ですか？」

口腔治療・歯周科 柏木陽一郎、北村正博

歯周病は歯周病菌が集まったプラーク(歯垢)が原因となり歯を支える骨などの組織を破壊する病気ですが、糖尿病の方が歯周病になり易いことはかなり以前から知られていました。糖尿病になると血液中の糖分濃度が上昇しますが、血糖が高くなると細菌感染から身体を守る免疫細胞の働きが低下します。そのため、糖尿病の方では歯周病菌に対する免疫作用が弱くなり歯周病が発症したり



が進行し易くなるのです。また、糖尿病は肥満と密接に関連してい

ますが、肥満になると脂肪から歯茎に悪影響を与える物質(炎症性サイトカイン)が過剰に産生され血流を循環することにより歯周病が増悪すると考えられています。糖尿病には神経障害、網膜症、腎症、糖尿病性足病変、動脈硬化性疾患といった5大合併症がありますが、最近では歯周病が糖尿病の第6の合併症と位置づけられるほど糖尿病と歯周病は関係が深いとされています。

一方、歯周病は口の中の一部に限られた病気と考えがちですが、歯周病も重度になると実際にはかなり大きな炎症や細菌感染源として存在します。そして、歯周病になった歯茎では炎症

性サイトカインが多く産生され全身に悪影響を与えていることが分かってきました。これまでに、糖尿病の方が歯周病の治療を受けると、糖尿病の状態を示すヘモグロビンA1c(HbA1c)が低下することが報告され、最近では歯周病も糖尿病に悪影響を与えているのではないかと考えられるようになってきました。

糖尿病と歯周病は、どちらも年齢とともに患者が増える生活習慣病で、かかり易い人に共通点のある病気です。糖尿病と歯周病は密接に関連していますので、気になる方は、お気軽に当院の担当医にお尋ねください。

を開催しました



ほぼ満席の会場と5名の講演者

が講演を行いました。講演後の総合討論では、活発な質疑応答が行われ、最後に、林美加子副院長からの挨拶があり、フォーラムは盛況のうちに閉会いたしました。



閉会の挨拶 林美加子 副院長

特集 3

口唇裂・口蓋裂・口腔顔面 成育治療センターのご紹介

副看護部長 熊谷 由加里



当センターの口腔外科医と看護師は、口唇口蓋裂の赤ちゃんがお生まれになった近畿圏内の産科医療施設へできるだけ早期にチームで出向き、お母様とご家族が安心できるような専門的な医療・看護を提供する地域連携支援を行っています。



出向先病院での哺乳



哺乳指導



乳児の診療風景



センターでは、新生児期から青年期にかけて、成長発達に合わせた治療とケアが重要であると考えています。特に、新生児期から乳児期の哺乳や育児については、一人一人のお母様に寄り添える哺乳指導や電話相談を行い、丁寧に細やかな看護ケアを心がけています。私達医療スタッフは、患者さんにご家族が元気で笑顔になれる外来づくりを目指しています。

「顎変形症の治療について」

口腔外科学第一教室 講師 田中 晋

お口の
マメ知識



顎変形症とは、顎顔面の骨格形態が不調和をきたすことで、咬み合わせの異常や顔の輪郭の変形(受け口など)等の症状を認めるものです。上アゴ(上顎骨)または下アゴ(下顎骨)の過剰な発育や発育不良により、顎骨の前後的な位置のずれや左右の対称性が失われる結果、顎関節(アゴの関節)の変形や、口が開けにくいなどの機能障害を伴うこともあります。また、顎骨の形態異常に伴って、舌の形が相対的に大きい(巨舌症)、あるいは小さい(小舌症)ことで、言葉が不明瞭になるケースもあります。原因は様々で遺伝的(家系的)なもの、先天的な病気によるもの、内分泌系の異常や外傷(けが)によるものもありますが、原

因が特定できないものも少なくありません。咬み合わせの異常は顎骨の形態や大きさが原因であるため、歯列矯正(歯の矯正)のみでは十分な結果が得られません。

このような患者さんに対して、当院では外科矯正手術(全身麻酔下でアゴの骨の形態を修正して、咬み合わせや顔貌形態を改善させる手術)を行っています。手術は通常アゴの成長発育が終了する成人前以降の年齢に行います。治療に当たっては、まず矯正専門医の診察を受けて外科矯正手術の適応があるか診断を行います。術前の矯正治療(数年間)が終了後に入院、全身麻酔下で手術を行います。手術は口の中から全ての操作を行い、咬み

合わせが安定するように顎骨の形態を改善し、吸収性あるいは金属製(チタン)プレートで固定します(写真)。退院後は、咬み合わせが安定するようにゴム(エラストック)を用いて一定期間固定を行い、術後矯正治療により最終的な咬み合わせに仕上げていきます。

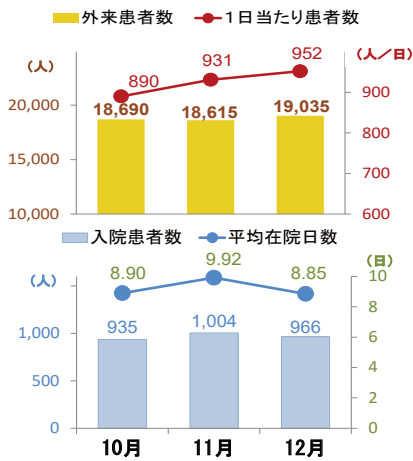


術前

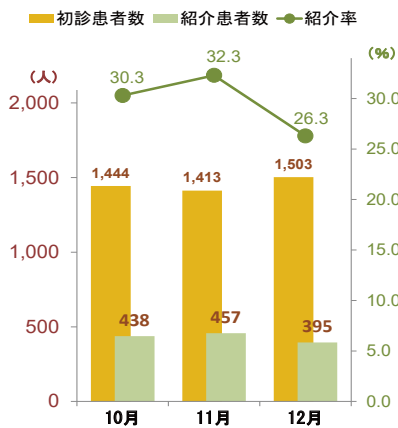
術後

10月～12月患者数等統計

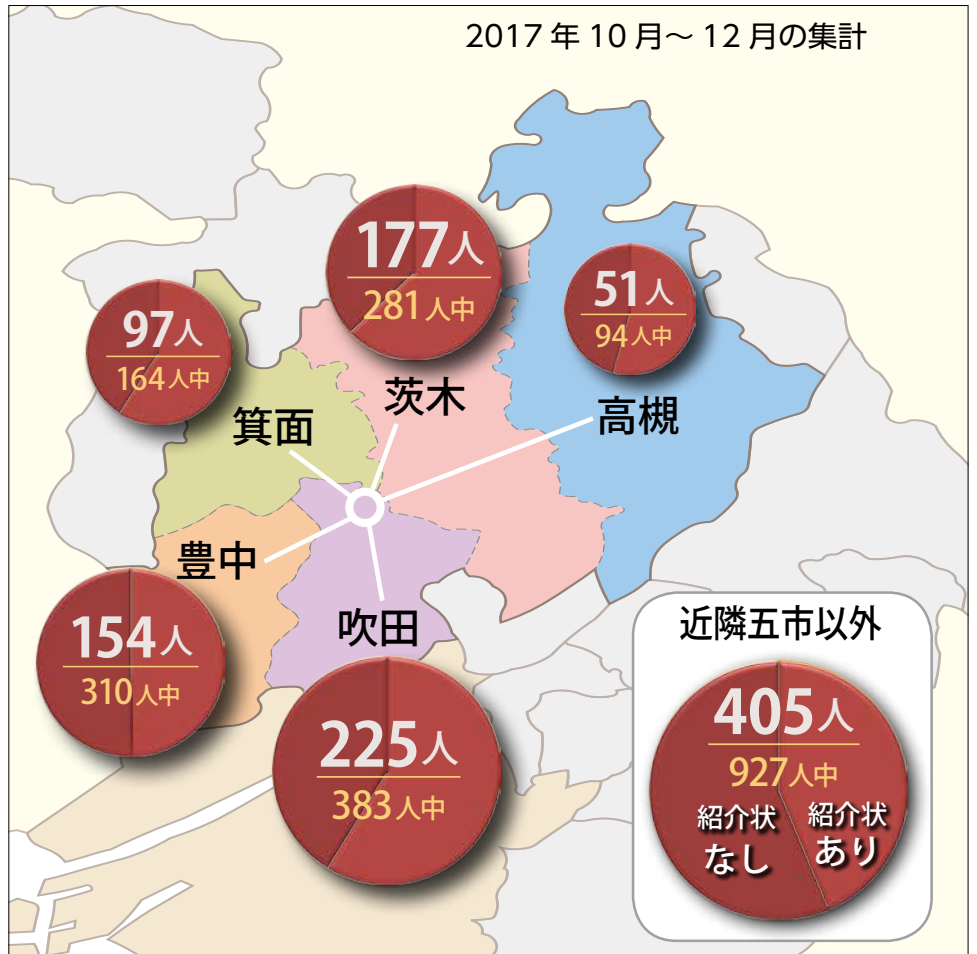
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）
【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかることがありますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえお越しください。

入院患者さんへのご面会時間は、12時から19時となっております。

病院へのアクセス

http://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。なお、平日夜10時以降、土、日および祝日は、千里門よりお越しください。

**看護師・歯科衛生士
募集中！**

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで

